
恋がおわるまでの 3 6 5 にち

萌愛春まによ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋があわるまでの365にち

【Zコード】

Z5343BA

【作者名】

萌愛春まにょ

【あらすじ】

愛あいが恋あいをしたのは塾の先生でした。

愛の先生にたいする恋。

でもそれは許されない。

なぜなら

先生と生徒だから・・・・・

愛の切ない恋の物語を『じりんぐだせー』。

恋

わたしは恋愛に年の差なんて関係ないと思つ
大切なのは気持ちだと思つ
しうがないじゃない
好きになってしまったのだから
ずっとずっとあたしより年上で
すうじく頭がよくて
かっこよくて面白くて・・・
いい人だなって思つてた
同じ年だったりじゃなってただろう?って考えたときもあった
でも
どうだらう
でも
恋するなんて思つてなかつた

気づいたら

恋に落ちてた

そんなのありえない

思つたよ

別に特別仲が良かつたわけじゃない
いっぱいほんしをしてたわけじゃない

だけじゃ

好きになっちゃったんだもん

しちうがないじゃん

ね？

先生

夏

春海 はるみ
愛 あい

中学校3年生。受験生。

あたしが先生に会ったのは暑い暑い夏の日だった。

今年受験生であるから

親から塾に行かせること。

ただでさえ勉強が嫌いなのに

塾に行つたらもっと勉強が嫌いになると思っていた。

案の定。

大つきらいになつた。

あたしは特別つめたい人間ではない。

逆にいつとすつじくべつむせじほつ。

でも初対面の人にはやつぱり距離をおいてしまつ。

あのときもそうだった。

初めて塾の校舎に足をふみいたとき2人の先生がいた。

「じゃんにちはー。初めてなんんですけど」

1人の先生に声をかけた。

中年の先生。いかにも頭がよさそう。

「じゃんにちは。木村です。この部屋に入つて」

順序よく案内される。

幸いにも中学3年生はあたし一人だけだつたらしく

広い部屋でその先生とマンツーマンで勉強。

案外分かりやすかつたし

結構覚えることができた。

一人で休憩していると

塾の入口で会つたもう一人の先生が来た。

「くま好きなの?」

確かにくまは好き。

文房具もくまで統一してあるほど。

でも初対面でからんでくる人は嫌い。

いちいちいい顔するのがめんどくさいから。

「あー……はい」

作り笑いをうかべた。

その先生はすぐ別の教室に行つた。

気分を悪くさせてしまったのかな?

でもあたしには関係ない。

そういえば……。

あの先生。

とてもきれいな顔をしてたなー。

かわいいよりもかっこいい。

イケメンだった。

メガネがよく似合つ若い先生だった。

名前を聞いておけばよかつたと思つてる。

これは後悔なのか?

いや。ただの慣れ合いか?

今日はお試しだから

ここに来るのは今日が最初で最後。

そう思っていた。

そう思っていたのに。

これが川村先生との初めて出会いだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5343ba/>

恋があわるまでの365にち

2012年1月14日20時50分発行